

地域経済活性化への取組み

当金庫は、苫小牧市を中心に胆振・日高・石狩・上川の一部地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互い助け合い発展していくことを共通理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野にいれ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

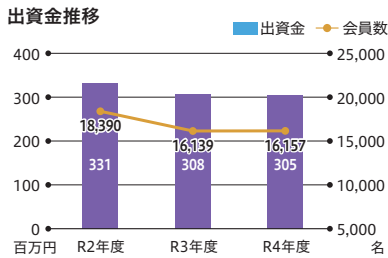
お客さま・会員・地域

苫小牧市、千歳市、札幌市、室蘭市、登別市、恵庭市、江別市、北広島市、石狩市、むかわ町、厚真町、安平町、占冠村、新冠町、日高町、平取町、白老町、新ひだか町

出資金

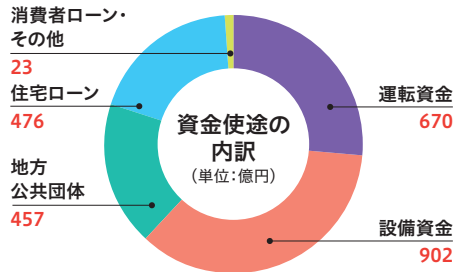
● 会員の出資について

- 会員数 **16,157名**
- 出資金 **3億5百万円**
- 出資一口(500円)当たりの純資産額 **85千円**



● 地元のお客さまへのご融資について

- 総融資額 **2,530億51百万円**
- 預貸率 **50.02%**

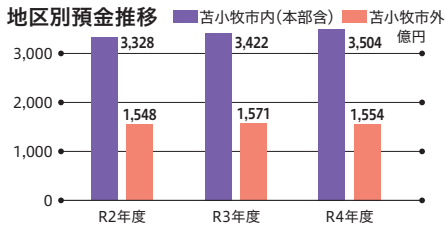
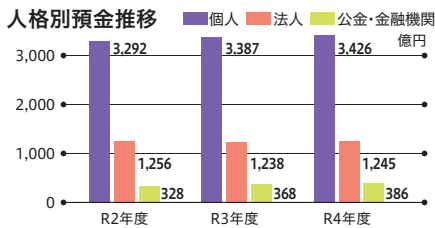


貸出金

預金・積金

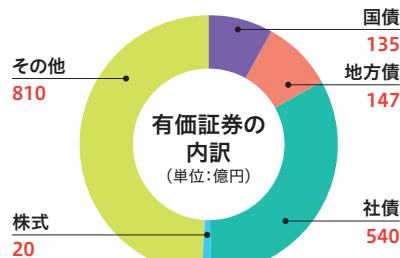
● お客さまからお預かりしている預金積金について

- 総預金額 **5,058億23百万円** (譲渡性預金含む)



● ご融資以外の運用について

- 有価証券 **1,654億63百万円**
- 預証率 **32.71%**
- 預け金 **1,238億52百万円**



支援サービス

苫小牧信用金庫

- 店舗数/29カ店 (うち出張所1カ店)
- 代理店/1カ店
- 子会社/3社
- 役員員総数/350名 (子会社含む)

とまさんのCSR(企業の社会的責任)への取組み

当金庫は、経営計画「とまさん『共創力』発揮3か年計画」の「支援力、営業基盤の強化」の中に、「地方創生のための取り組み」を挙げております。

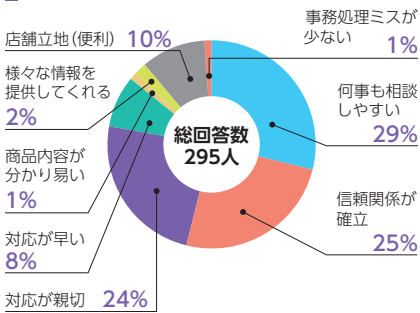
当金庫は、地域社会の一員として、これまで以上に各種地域貢献活動の実践、地域イベントへの参画、並びに奉仕活動等を通じて社会的責任(CSR)を果たしてまいります。

令和5年3月末時点

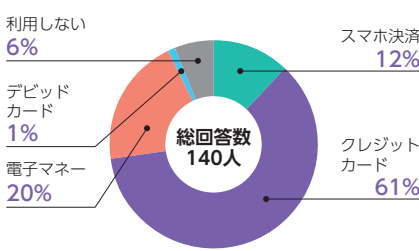
総代アンケート結果(令和5年度)

総代の皆さまにご協力いただき、当金庫に対する質問形式のアンケートを行い、週日ご回答をいただきました。その結果がまとまりましたので、ご報告いたします。ご協力いただきまして、ありがとうございます。

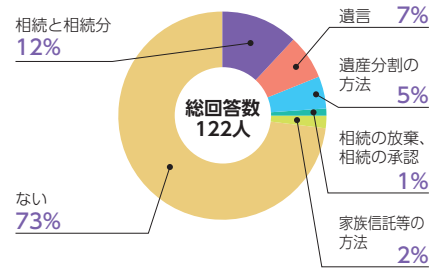
当庫に対して「良い」と思うこと



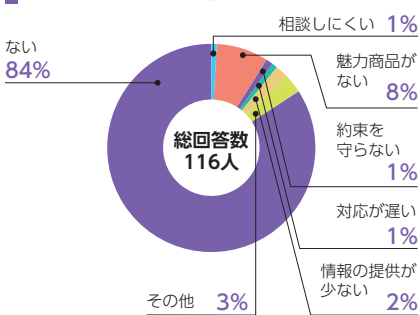
キャッシュレス決済の利用について



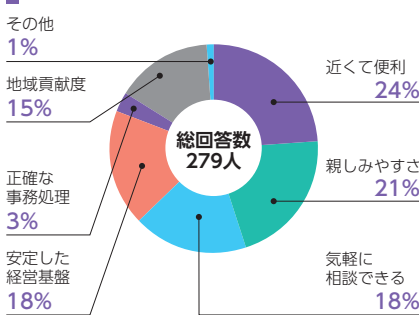
相続に関してお悩みやご相談したいことはありますか



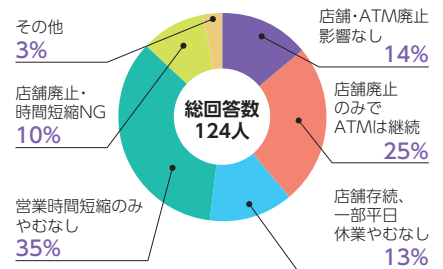
当庫に対して「不満」と思うこと



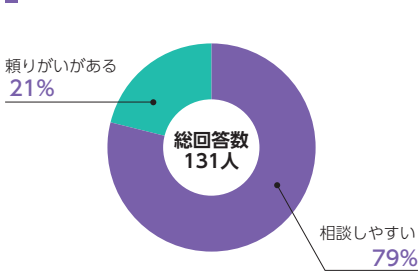
当庫が他行と比較し、優れている点は



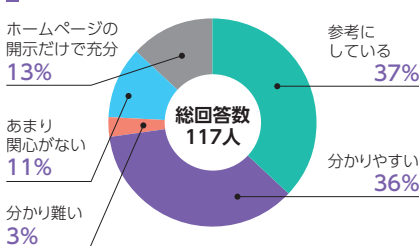
店舗の統廃合や窓口時間の短縮、平日休業等について、どう思われますか



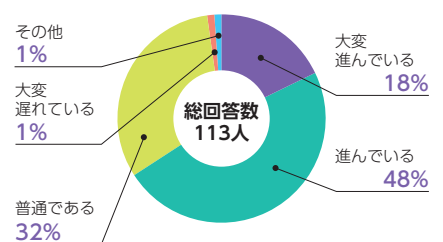
営業店の「店長」について



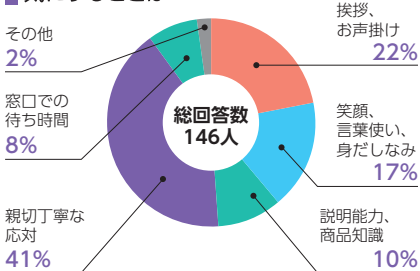
ホームページやディスコ誌等の情報開示について感じていることは



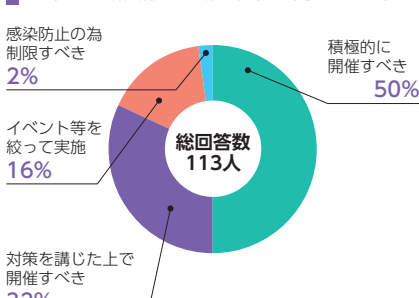
ガバナンス機能を向上させるため、総代の定年性や重任制限、情報開示、職員外役員の登用等について、どう思われますか



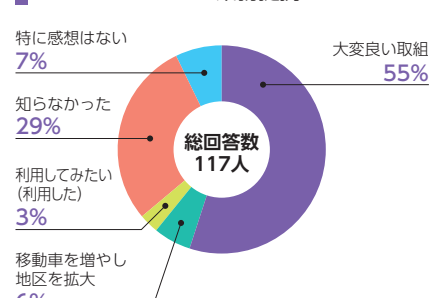
職員の対応について最も気にすることは



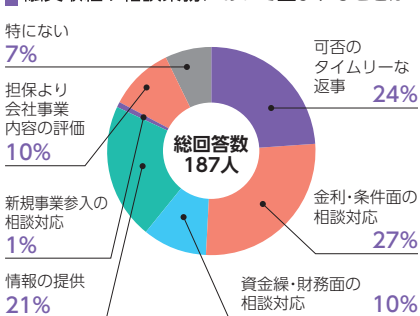
当庫の地域貢献・地域活性化に向けた活動は



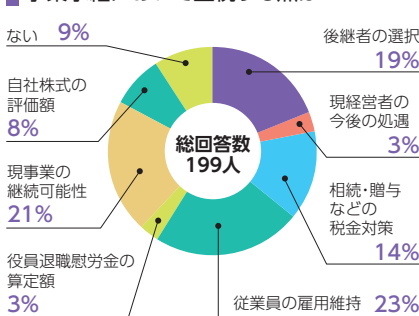
コープさっぽろとの業務提携について



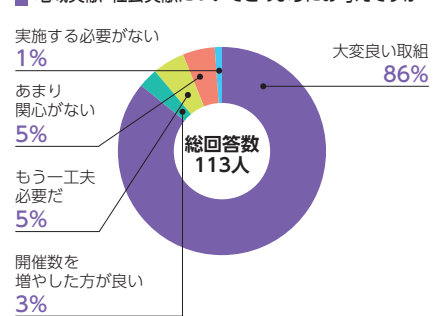
融資取組や相談業務において望まれることは



事業承継において重視する点は



地域貢献・社会貢献についてどのようにお考えですか



業務概要

地域貢献

商品・サービス

経営管理

資料編

会員の方々からのご意見

信用金庫は「会員による自治」の精神を基本理念としている協同組織金融機関です。当金庫では、お客さまの満足度と信頼度のさらなる向上及び経営体質強化を目指し、より地域に密着した金融機関となるよう改善の努力を重ねております。その取り組みの一環として、多くの会員の皆さまの意見を反映するためのアンケートを実施し、当金庫に対する多数のご意見・ご要望をいただきました。頂戴いたしましたご意見の一部を掲載させていただきます。



ご支援の声

経営に関する事項

- ★近隣自治体への寄付を続けていること、自治体を通じて地域や住民に還元していることに大変感心している。
- ★支店長などの責任ある地位に女性職員を登用するなど、時代に即した経営判断であり、素晴らしい。

地域貢献に関する事項

- ★LLBの取組は地域貢献として非常に有効であると思っておりますので、今後も継続して取組んでいただきたい。
- ★近くに営業店やATMがなく不便を感じていたが、コープさっぽろの移動販売車のおかげで遠くに行くことなく、ATMが利用できるようになった。

業務に関する事項

- ★担当者以外にも店長や役員の訪問もあり、様々な商品紹介、有益な情報提供、迅速かつ親切な対応に感謝している。
- ★低金利で住宅ローンを利用でき、火災保険の相談にも乗っていただけ、住宅取得時の不安や不明点が解消できたことに感謝している。

ご要望の声

経営に関する事項

- ★異動等による担当者の入れ替わりが気になる。信頼関係の構築に時間が必要になることから、異動期間を改善してほしい。

地域貢献に関する事項

- ★コロナ禍で中止となっていた「信和会コンサート」「まち市」等のイベントを再開し、継続開催してほしい。
- ★取引先代表者を講師として招き、企業向け研修を行ってほしい。

業務に関する事項

- ★新型コロナ、原価高騰、人手不足、資金繰り等様々な問題を抱えているので、今後も経営アドバイスや補助金等の支援策情報の提供をお願いしたい。
- ★豊平支店の開設により、利便性が向上したが、将来的に更なる店舗の開設、ATMの設置に期待する。



皆さまからの多くのご支援・ご要望の声をいただき、誠にありがとうございました。

当金庫は、地域金融機関としての使命を十分認識するとともに、お客さまの声を大切に、皆さまから愛される金融機関となるよう役職員一丸となって邁進してまいります。



利用者の評価に関するアンケート結果(令和5年度)

当金庫をご利用されるお客さまの意見、要望を収集し、よりいっそうのサービスを提供することを目的に以下のアンケートを実施しましたので、その結果について概要を報告いたします。

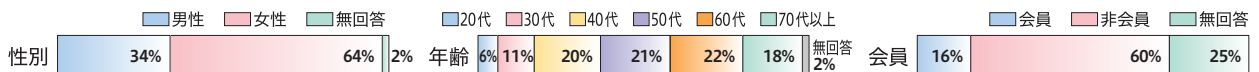
1. 調査実施方法

- (1) 調査期間 令和5年4月10日(月)～4月21日(金) (4) 有効回答数 1,072枚
 (2) 実施店舗 30店舗(出張所、代理店を含む) (5) 調査項目 11項目(以下のとおり)
 (3) 調査方法 店頭調査(店頭に調査票を設置し、来店したお客さまに回答をお願いする)

2. 調査結果の概要

(1) 回答いただいたお客さまの属性

性別、年齢、会員か否かの3つについての属性は以下のとおりです。



(2) 設問ごとの結果

以下の11項目ごとに、満足度(どの程度満足されたか)について質問し、かつ意見や要望がある場合には記入していただく方法をとりました。なお満足度を[満足、ほぼ満足、やや不満、不満]の4つに区分し、当金庫がどこに当てはまるかを選択していただく方式としております。

① 窓口の対応(態度、待ち時間)

満足度
97%

「満足」と「ほぼ満足」で97%を占め、高評価を頂いております。店舗での窓口対応はお客さまとの重要な接点であることを意識し、これからも明るく丁寧な対応を心がけます。

- 窓口の対応が明るく親切。(錦岡支店、厚真支店、他各支店)
- 親しみやすく、信頼感が持てる。(三条支店)

⑦ 営業時間やATMの利便性

満足度
71%

「満足」「ほぼ満足」をあわせて71%と他の項目と比べ低く、「やや不満」が22%と不満の声もございます。ATMサービスの円滑な運営のため、硬貨による取引を停止させていただいているほか、環境保全の観点から現金を入れる封筒の店頭設置やATM設置を取りやめております。お客さまにはご不便をおかけしますが、何卒ご理解頂ければと存じます。

- ATMで硬貨の取引ができなくなり、不便。(桜木支店、中野支店、他各支店)
- 現金を入れる封筒を設置してほしい。(本店、沼ノ端北支店、他各支店)

② 商品内容の説明、わかりやすさ

満足度
95%

「満足」(50%)、「ほぼ満足」(45%)と高い評価を頂いております。今後もよりわかりやすい商品の品揃えと、お客さまの立場に立ったサービスに努めます。

⑧ 金融機関としてのイメージ、親しみやすさ

満足度
98%

「満足」(54%)「ほぼ満足」(44%)と高評価を頂きました。地域に密着した金融機関として、これからもお客さまの信頼と期待に応えられるよう努めてまいります。

③ 要望や相談への対応、アドバイス

満足度
96%

「満足」「ほぼ満足」で96%を占めています。お客さまのご要望やご相談に親身になって対応し、地域社会の発展に貢献することが当金庫の使命だと考えており、これからもその役割を果たしてまいります。

- 事業を経営していく上でわからないことなどを相談しやすい。(本店)

⑨ 経営の健全性

満足度
93%

毎年発行しているディスクロージャー誌やホームページなどを通じて、当金庫の経営状況を開示しております。純資産額、含み損益、自己資本比率、不良債権比率などの数値や指標について、健全な水準を維持・充実させるよう努めてまいります。また、これらを積極的にPRすることで、お客さまが安心してご利用いただける金融機関であり続けます。

④ 高齢者などへの気配り、サービス

満足度
93%

「満足」(49%)、「ほぼ満足」(44%)と高評価を頂きました。当金庫では「ご長寿ふれ愛110番」の設置や苫小牧市内の独身高齢者住宅への定期訪問の実施や、相続相談対応窓口の設置など、高齢者の方々へのサービスを充実させております。また、店舗のバリアフリー化や視覚障がい者対応のATM完備等、多くのお客さまが利用しやすい環境を整備しております。

⑩ 店舗環境や設備状況

満足度
91%

「満足」「ほぼ満足」が91%と概ね高い評価を頂いておりますが、店舗設備についてのご要望もいただいております。お客さまのご要望を真摯に受け止め、引き続きご利用しやすい環境づくりに努めてまいります。

- 両替機を設置してほしい。(西支店)
- 駐車場の状況が悪いので直してほしい。(厚真支店)

⑤ 商品、サービスの品揃え

満足度
87%

「満足」「ほぼ満足」をあわせて87%と、概ね高評価を頂いているものの、前年に引き続き他の項目と比べて若干数値が低い結果となりました。よりお客さまのニーズあった商品・サービスを提供できるよう商品開発に励んでまいります。

⑥ 預金や貸出金の金利、各種手数料料金

満足度
71%

「満足」(26%)「ほぼ満足」(45%)と評価を受けている一方で、「やや不満」(23%)のご意見も頂いております。預金金利は最低水準のままになっておりますが、ご融資につきましてはお客さまのニーズに対応すべく各種商品を取り揃えております。また、手数料については実費相当分をご負担を頂いております。今後も各種サービスの向上に努めてまいりますので、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

- 手数料が以前より高くなった。(緑町支店)

⑪ 地域社会への貢献度

満足度
95%

昨年に引き続き高い評価を頂いております。現状の評価に満足することなく、地域に寄り添う金融機関として様々な貢献活動を行い、これからも地域とともに歩み続ける金融機関であり続けます。

※●【要望コメント】 ○【支援コメント】

※満足度は、「満足」、「ほぼ満足」を合計した数値です。

お客さまからいただきましたご回答や貴重なご意見から、当金庫の強み・弱み・今後の課題について認識を深めることができました。ご協力いただきましたお客さまには深く感謝申し上げます。これからも、お客さまの利便性や満足度の向上に向け邁進いたします。

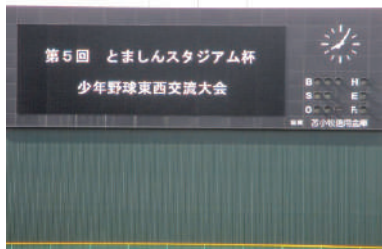
地域貢献・地域活性化活動(令和4年度)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、長らく開催中止としていた行事の一部を再開いたしました。掲載している行事以外についても、順次再開していく予定です。

4月

とましんスタジアム杯「少年野球東西交流大会」

スポーツ文化振興の一環として当金庫では、平成27年11月に市営球場のネーミングライツを取得して以降、定期的に少年野球大会を開催しております。今年で5回目の開催となり、東・西大会で優勝・準優勝した4チームに参加していただきました。



6月

新生公園花壇の植栽

「トマコマイクリーンアップ・サポーター制度」の一環として新生公園花壇の植栽管理を行いました。



10月~12月

まち市

3年ぶりに開催されたまち市。地元特産品の魅力をPRする地域特産品直売会には当金庫お取引先30先にご参加いただきました。また、恒例となっている駒大苫小牧高校吹奏楽局による演奏は満席となり、会場は大盛況となりました。



市民サロン コンサート

地域の皆さまが気軽に利用できる多目的ホール「市民サロン」にて地元の音楽グループなどがコンサートを開催しております。令和4年度は2回開催いたしました。



高石拓実ピアノリサイタル



舞里音クリスマスコンサート

地方公共団体への寄付

地域貢献事業の一環として、地方公共団体における各事業の推進に向けた寄付(総額30百万円)を行いました。令和4年度に寄付を行った市町村及び事業は以下のとおりです。

- 苫小牧市
「公共施設整備基金」
- 千歳市
「転入数を増加させ定着を促す事業」
- むかわ町
「みんなで支え合い、明るい未来を創る事業」
- 厚真町
「厚真町庁舎建替え」
- 平取町
「地域の豊かな資源を生かし、食・環境で魅力ある地域をつくる事業」
- 日高町
「このまちに誇りをもってアクティブに住み続けたいと思える生活を支える事業」
- 新冠町
「思いやりと笑顔あふれるまちづくり事業」
- 白老町
「多様な関係が町を支え、誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり事業」
- 安平町
「未来へつなげる復興まちづくりプロジェクト～震災前よりも魅力ある町づくりに向けて～」



R4.12 苫小牧市への寄付

ATM搭載移動販売車 運行開始

コープさっぽろ様と連携し、当金庫ATMが搭載された移動販売車おまかせ便「カケル」が令和4年10月より運行しております。

信用金庫業界としては全国初の取組であり、「カケル」のネットワークを活かし、地域の皆さまの暮らしをサポートいたします。

「カケル」は平取町、むかわ町(穂別地区)、厚真町、日高町(日高地区)を火曜～土曜の週5日運行。ATMは火曜～金曜の週4日ご利用可能で、入出金や残高照会のほか、通帳の記帳・繰越にも対応しております。

※ATMに関するお問い合わせは運行区域の当金庫支店まで、運行時刻などの詳細はコープさっぽろ様のホームページ等によりご確認ください。



「赤い羽根自動販売機」の設置

赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同し、当金庫に「赤い羽根自動販売機」を設置いたしました。

この自動販売機の売り上げの一部が赤い羽根共同募金へ寄付され、苫小牧市の社会福祉のために活用されています。



R5.6 赤い羽根自動販売機の設置

とましん信和会・講演会等の足跡

毎年恒例となっているとましん信和会は、豪華な一流歌手を招き、多くの皆さまのご支持をいただいている歴史ある行事です。

また、講演会等は著名な講師を招聘し、とましん経済(文化)講演会や地域活性化フォーラムを開催しています。職員に対しては、見識の涵養としての職員教育の一環として、各分野の専門家や地元の各業界の有識者を講師に迎え、講演会を行っています。これからも地域の皆さまのご期待に沿えるよう、企画・開催してまいります。(敬称略・肩書は当時のものです。また一部省略している場合もあります。)

これまでのとましん信和会公演の足跡

公演年月日	公演者
昭和38年 6月 13日	三波 春夫
45年 6月 29日	松竹大歌舞伎特別公演
46年 7月 15日	宝塚歌劇団公演
47年 9月 11日	美空 ひばり
49年 7月 4日	松竹大歌舞伎特別公演
50年 8月 20日	北島 三郎
51年 8月 24日	二葉 百合子
52年 7月 16日	森 進一
53年 9月 13日	小柳 ルミ子
54年 8月 24日	細川 たかし
55年 9月 22日	千 昌夫
56年 9月 14日	都 はるみ
57年 8月 22日	なつかしの歌謡ショー
58年 9月 8日	藤山 寛美
59年 8月 18日	細川 たかし
60年 9月 5日	藤山 寛美
61年 8月 22日	小林 幸子
62年 8月 21日	八代 亜紀
63年 6月 22日	五木 ひろし
平成元年 8月 25日	森 進一
2年 8月 20日	細川 たかし
3年 8月 22日	大月 みやこ
4年 8月 19日	桂 銀淑
5年 8月 2日	北島 三郎
6年 8月 26日	藤 あや子

公演年月日	公演者
平成7年 8月 29日	坂本 冬美
8年 10月 16日	梅沢 武生劇団(梅沢 富美男)
9年 9月 5日	前川 清
10年 8月 24日	石川 さゆり
11年 8月 24日	長山 洋子
12年 8月 21日	吉 幾三
13年 8月 29日	川中 美幸
14年 8月 20日	小林 幸子
15年 8月 21日	前川 清&梅沢 富美男
16年 8月 27日	美川 憲一
17年 10月 28日	天童 よしみ
18年 8月 25日	コロッセ
19年 8月 16日	北島 三郎
20年 9月 16日	吉 幾三
21年 8月 31日	五木 ひろし
22年 9月 14日	細川 たかし
23年 9月 27日	坂本 冬美
24年 9月 25日	杉 良太郎&伍代 夏子
25年 8月 19日	北島 三郎
26年 9月 9日	島津 亜矢
27年 9月 17日	加山 雄三&ザ・ワイルドワンズ
28年 8月 29日	水森 かおり
29年 9月 6日	天童 よしみ
30年 10月 18日	美川 憲一&コロッセ
令和元年 8月 9日	新演歌三姉妹(市川由紀乃、丘みどり、杜このみ)

これまでの講演会等の足跡

開催年月日	講師名	テーマ
昭和56年 9月 10日	佐々木 久子(雑誌「酒」編集長・随筆家)	酒と人生
57年 7月 29日	高島 陽(経済評論家)	変動期における中小企業経営の着眼点
58年 7月 25日	高島 陽(経済評論家)	新技術革新と中小企業の対応
63年 5月 24日	竹村 健一(文明評論家)	これからの日本
平成2年 9月 21日	中西 章一(パーソナリティ)	パーソナリティの独りごと
3年 10月 14日	日下 公人(多摩大学教授)	地域活性化の具体的成功例に学ぶ
7年 8月 4日	三義 智章(日本ビジネスドック診断指導協会 理事長)	長期不況から脱出するための企業の経営戦略
8年 2月 22日	邱 永漢(経済評論家)	新時代の経営と金儲けの秘訣
8年 8月 6日	金井 一頼(北海道大学経済学部教授)	中小企業戦略といま中小企業に必要なのは
8年 11月 20日	嵐 信彦(ジャーナリスト)	世紀末はチャンス時代
9年 4月 24日	三義 智章(日本ビジネスドック診断指導協会 理事長)	価格破壊時代に必要な利益計画の策定と超不況経営のポイント
9年 8月 12日	水谷 研治(東海総合研究所 社長)	右肩上がりの日本経済
9年 11月 14日	高木 勝(富士総合研究所 理事)	どうなる? 今後の日本の経済
10年 3月 12日	紺谷 典子(日本証券経済研究所 主任研究員)	日本経済の実相
11年 3月 19日	富家 孝(医療ジャーナリスト)	経営者の健康法-会社の発展はトップの健康法から
11年 6月 7日	植草 一秀(野村総合研究所 上席エコノミスト)	日本経済の現状と展望
11年 11月 19日	金森 久雄(財)日本経済研究センター顧問)	日本経済の将来-復活へのシナリオ
12年 2月 17日	浅井 信雄(国際政治学者)	激変世界に揺らぐ日本の政治と経済
12年 2月 19日	衣笠 祥雄(野球解説者)	野球に学び教えられたこと
12年 7月 18日	高野 孟(インサイダー編集長)	日米経済摩擦とこれからの日本
12年 10月 26日	内橋 克人(評論家)	地域・情報・テクノロジー -新時代の中小企業
13年 2月 13日	岩見 隆夫(政治評論家・毎日新聞東京本社編集局顧問)	揺れ動く内外情勢とこれからの政局
13年 2月 27日	三遊亭 金時(落語家)	案は苦の種、苦は案の種
13年 7月 10日	紺谷 典子(日本証券経済研究所 主任研究員)	これからこそ中小企業の時代
13年 10月 26日	草野 厚(慶應義塾大学 総合政策学部教授)	21世紀の日本-政治と経済

開催年月日	講師名	テーマ
平成14年 2月 13日	黒岩 祐治(フジテレビジョン・キャスター)	どうなる日本
14年 3月 4日	東海林 のり子(キャスター・リポーター)	生き生きとした人生のために
14年 7月 11日	福岡 政行(白鷗大学法学部教授)	新世紀の日本政治と経済を展望する
14年 10月 25日	福島 敦子(キャスター・エッセイスト)	私の取材手帳から
15年 3月 7日	正司 歌江(女優)	笑い涙と希望の人生ドラマ
15年 7月 10日	川本 裕子(マッキンゼー シニア・エキスパート)	金融システムの健全化とこの国の将来
15年 9月 3日	とましん地域活性化フォーラム	わが街のまちづくり
15年 10月 31日	中邨 秀雄(吉本興業(株) 取締役名誉会長)	吉本流経営戦略
16年 3月 10日	松居 一代(女優・エッセイスト)	生きてるってすばらしい
16年 8月 3日	鳶 信彦(ジャーナリスト)	これからの10年～人と企業と地域
16年 9月 18日	とましん地域活性化フォーラム	苫小牧が北海道のためにできること
17年 3月 4日	同前 雅弘(NPOエイプロンス理事・(株)大和証券グループ顧問)	変化の時代への対応～証券市場の役割と展望
17年 3月 8日	ガッツ石松(元プロボクサー)	ガッツ石松のわが人生
17年 5月 27日	塩川 正十郎(元財務大臣)	今、統治システムの改革
17年 8月 10日	藤堂 省(北海道大学大学院 医学研究科教授)	命の贈り物
18年 2月 12日	とましん地域活性化フォーラム	苫小牧発!北海道の未来
18年 3月 23日	千住 文子(エッセイスト・教育評論家)	すべては「千住家の教育白書」からはじまった。
18年 7月 24日	黒岩 祐治(フジテレビジョン・キャスター)	どうなる日本
19年 5月 8日	中田 美智子(株)エフエム北海道営業本部副部長兼放送本部副部長)	北の大地を誇りに思う時
19年 6月 18日	中川 政雄(株)オフィス・なかがわ代表 元気コメンテーター)	これからは信用金庫の時代
19年 7月 10日	林田 正光(株)HAYASHIDA-CS総研 代表取締役)	感動を呼ぶサービスの真髄
19年 11月 26日	遠藤 友彦((有)ゴーアヘッドジャパン 代表取締役)	駒苦に学ぶ組織力
20年 1月 22日	金井 昭雄(富士メガネ会長)	海外難民視力支援ミッション
20年 3月 24日	北川 正恭(前三重県知事)	多様な主体による地域経営
20年 3月 25日	石橋 弘次(トヨタ自動車北海道 取締役副社長)	地域とともに
20年 5月 19日	高木 新二郎(野村證券(株)顧問・法学博士)	地域力再生機構はなにをするのか 中小企業の活性化
20年 6月 16日	中川 政雄(株)オフィス・なかがわ代表 元気コメンテーター)	笑う会社と泣く会社はここが違う
21年 3月 6日	とましん地域活性化フォーラム	北海道(苫小牧)が元気になるために
21年 7月 19日	東国原 英夫(宮崎県知事)	地方から日本をどげんかせんといかん!
21年 7月 25日	中川 恵一(東京大学医学部付属病院放射線科准教授 緩和ケア診療部長)	がんのひみつ
21年 11月 20日	高木 由利(医療法人財団織本病院理事長・医長)	美しく生きるために～動脈硬化撲滅作戦～
22年 4月 23日	斉藤 征義(田んぼdeミュージカル委員会事務局長)	「田んぼdeミュージカル」で街おこし
22年 5月 8日	松岡 紀雄(神奈川大学経営学部・同大学院経営学研究科教授 全国信用金庫協会監事)	松下幸之助から学びて、いま思う日本の行く末
22年 6月 18日	中川 政雄(株)オフィス・なかがわ代表 元気コメンテーター)	頑張り地域経済(組織を強くする3つの条件)
22年 10月 26日	松岡 市郎(「写真の町」東川町町長)	東川町からこんにちへ 東川町のまちづくり
23年 1月 15日	石川 勝美(埼玉信用金庫法人事業部推進役(プロゴルファー石川 遼選手の父))	～親子は同じ目線で夢を持つ～親子で挑む世界制覇
23年 2月 12日	我喜屋 優(興南高校理事長 硬式野球部監督) 香田 誉士史(元駒大苫小牧高校野球部監督)	甲子園優勝監督苫小牧凱旋
23年 6月 17日	高橋 進(日本総合研究所 副理事長)	日本経済の現状と展望・地方経済の課題
23年 7月 4日	中川 政雄(株)オフィス・なかがわ代表 元気コメンテーター)	元気の出前～元気があったらやれるで(伸びる会社はここが違う)
23年 11月 25日	田村 昇(株式会社 柳月 代表取締役社長)	地域に生き、人と人、心と心をつなぐ経営
24年 4月 27日	磯田 憲一(財団法人 北海道文化財団 理事長)	北海道の流儀
24年 5月 25日	シンポジウム	再生可能エネルギーを考える
24年 6月 22日	内田 忠男(国際ジャーナリスト 名古屋外国語大・大学院客員教授)	国際ジャーナリストからみた日本経済・世界経済
24年 10月 12日	津田 廣喜(元苫小牧税務署長)	日本の社会と財政・金融政策
24年 10月 19日	阿部 雅司(東京美装興業(株)・全日本ノルディック複合競技コーチ)	ノルディック複合に賭けた不屈のチャレンジャー
24年 10月 20日	藤津 勝一 (信金中央金庫地域・中小企業研究所 主任研究員)(金庫内特別研修)	営業店における経営改善支援の取り組みについて 実効性確保・信頼関係再構築・顧客と地域からの評価向上に必要なこととは
24年 11月 5日	田村 秀(新潟大学法学部副学部長・教授)	B級グルメが地方を救う
24年 12月 8日	角田 匠(信金中央金庫地域・中小企業研究所 上席主任研究員)	日本経済の基礎知識と経済指標の見方
25年 2月 7日	堀田 力(公益財団法人 さわか福社財団 理事長)	高齢社会における企業のあり方 支えあう長寿社会
25年 12月 17日	とましん地域活性化フォーラム	苫小牧のまちづくりに求められること、地域を活性化するために必要なこと
26年 6月 17日	桂 米助(落語家)	話の味は人の味 ～たゆまぬ努力が味を出す～
26年 10月 29日	古賀 茂明(元・経済産業省官僚)	日本は再生できるのか?
26年 12月 2日	清原 伸彦(日本体育大学名誉教授)	なぜ、今集団行動なのか ～真心とは～
27年 6月 16日	星 浩(朝日新聞社特別編集委員)	日本政治・日本外交
27年 10月 15日	真壁 昭夫(信州大学経済学部教授・経済学者)	日本・世界経済のゆくえ
29年 3月 6日	萩谷 順(法政大学法学部教授・ジャーナリスト・元朝日新聞 編集委員)	今後の日本の政治経済について
29年 10月 2日	龍崎 孝(学校法人日通学園 流通経済大学 スポーツ健康科学部教授)	現在の日本の政治経済について
令和元年 10月 7日	尾木 直樹(尾木ママ)(教育評論家 法政大学特任教授 臨床教育研究所[虹]所長)	取り残される日本の教育 ～わが子のために親が知っておくべきこと～
令和2年 1月 29日	上山 博康(社会医療法人 禎心会脳疾患研究所所長)	下流老人にならないために!～健康であることが基本～
令和2年 12月 7日	隈 研吾(建築家)	まちづくりについて考える

地域への寄付金(平成14年度以降)

地域に生まれ、地域とともに歩む信用金庫の原点を踏まえ、業務活動を通じて生じた利益の一定額を地域に還元する方針に基づき、地方自治体や公共機関などへの寄付というかたちで、毎年地域に還元してまいりました。主な内訳は以下のとおりです。

(単位：千円)

金額	寄付先・寄付目的		金額	寄付先・寄付目的	
60,050	北海道		24,040	平取町	
3,000	平成18年度	全国植樹祭	1,000	平成15年度	台風10号災害義援金
3,000	平成19年度	洞爺湖サミット	500	平成18年度	地域振興事業
10,000	平成21年度	安全安心な地域づくり推進活動	500	平成19年度	子供芸術劇場開催
3,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用	3,000	平成21年度	教育・文化・スポーツ振興基金
10,000	平成25年度	苫東地区進出企業支援	1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用
5,000	平成27年度	苫東地区開発推進事業支援	3,000	平成25年度	びらとり温泉建替
3,000	平成29年度	北海道開基150周年事業	2,000	平成26年度	地方創生取組
10,000	平成30年度	ほっかいどう未来チャレンジ基金	2,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用
3,000	令和元年度	第44回育樹祭協賛金	6,540	平成30年度	新規就農支援設備として旧振内代理店及び旧同職員 居宅の土地・建物を譲渡
10,000	令和2年度	「もう一つのクライマックス」プロジェクト	1,500	令和元年度	地方創生推進のための資金
20	令和2年度	ほっかいどう恐竜化石マップ制作プロジェクト	1,500	令和2年度	地方創生推進のための資金
30	令和3年度	北海道家庭生活総合カウンセリングセンター	1,500	令和4年度	就農チャレンジ農場整備事業
115,000	苫小牧市		19,300	日高町	
500	平成17年度	文化芸術振興事業	1,500	平成15年度	台風10号災害義援金
3,000	平成18年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	300	平成17年度	開拓100年式典
3,000	平成19年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	1,000	平成18年度	まちづくり、AED設置
10,000	平成21年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	500	平成19年度	社会福祉事業
1,000	平成21年度	社会教育・緑化事業	3,000	平成21年度	商工振興事業
500	平成22年度	市民文化芸術振興基金	1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用
5,000	平成23年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	2,000	平成25年度	日高町PR、婚活支援事業
10,000	平成24年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	2,000	平成26年度	地方創生取組
10,000	平成25年度	夜間救急センター非常発電装置	3,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用
1,000	平成25年度	市民文化芸術振興施策助成	1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金
10,000	平成26年度	緑ヶ丘総合運動公園整備事業	500	令和元年度	地方創生推進のための資金
5,000	平成27年度	市民ホール総帳	1,500	令和2年度	まちづくり推進
5,000	平成27年度	とましんスタジアムモニュメント	1,500	令和4年度	このまちに誇りをもってアクティブに住み続けたいと 思える生活を支える事業
10,000	平成29年度	市民ホール建設	15,500	新冠町	
10,000	平成30年度	市民ホール建設ほか地域活性化	1,000	平成15年度	台風10号災害義援金
1,000	平成30年度	苫小牧市高丘地区桜植樹	500	平成18年度	地域振興事業
10,000	令和元年度	児童相談複合施設整備等	500	平成19年度	図書購入事業
10,000	令和2年度	コロナ禍における地域医療の保持と推進のため	3,000	平成21年度	スポーツ・レクリエーション施設
10,000	令和4年度	公共施設整備基金(市民ホール建設)	1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用
13,500	千歳市		2,000	平成25年度	地域振興事業
3,000	平成21年度	地域振興基金	2,000	平成26年度	地方創生取組
1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用	1,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用
2,000	平成25年度	地域振興事業	1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金
1,000	平成26年度	地方創生取組	500	令和元年度	地方創生推進のための資金
2,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用	1,000	令和2年度	地方創生推進のための資金
1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金	1,500	令和4年度	思いやりと笑顔あふれるまちづくり事業
1,500	令和2年度	地方創生推進のための資金	21,000	むかわ町	
1,500	令和4年度	転入数を増加させ定着を促す事業	1,000	平成15年度	台風10号災害義援金
21,000	むかわ町		1,000	平成18年度	地域振興事業
1,000	平成15年度	台風10号災害義援金	500	平成19年度	音楽演劇鑑賞事業
1,000	平成18年度	地域振興事業	3,000	平成21年度	視聴覚教材テレビ購入
500	平成19年度	音楽演劇鑑賞事業	1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用
3,000	平成21年度	視聴覚教材テレビ購入	2,000	平成25年度	鈴木章記念事業推進基金
1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用	2,000	平成26年度	地方創生取組
2,000	平成25年度	鈴木章記念事業推進基金	3,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用
2,000	平成26年度	地方創生取組	1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金
3,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用	1,500	令和2年度	地方創生推進のための資金
1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金	2,000	令和4年度	多様な関係が町を支え、誰もが安心して暮らし続ける ことができるまちづくり事業
1,500	平成30年度	北海道胆振東部地震災害義援金	2,000	安平町	
1,500	令和元年度	恐竜ワールド構想推進	1,000	令和2年度	未来へつなげる復興まちづくりプロジェクト
1,500	令和2年度	まちの活力を担う人材の育成と強化を図る事業	1,000	令和4年度	未来へつなげる復興まちづくりプロジェクト
1,500	令和4年度	みんなで支え合い、明るい未来を創る事業	2,500	室蘭工業大学	
31,000	厚真町		500	平成18年度	公開講座事業
500	平成15年度	台風10号災害義援金	500	平成20年度	管理運営助成
500	平成18年度	地域振興事業	1,000	平成21年度	管理運営資金
500	平成19年度	地域振興事業	500	平成22年度	管理運営資金
3,000	平成21年度	地域振興基金	3,500	苫小牧工業高等専門学校	
1,000	平成23年度	東日本大震災関係調査費用	500	平成17年度	共同研究助成金
2,000	平成25年度	京町公園整備事業	300	平成19年度	ロボコン2007
2,000	平成26年度	地方創生取組	500	平成20年度	管理運営助成
3,000	平成27年度	地方創生基礎調査費用	1,000	平成21年度	管理運営資金
1,500	平成30年度	地方創生推進のための資金	500	平成22年度	管理運営資金
4,000	平成30年度	北海道胆振東部地震災害義援金	300	平成23年度	ロボコン2011
1,500	令和元年度	地方創生推進のための資金	100	平成26年度	50周年記念
1,500	令和2年度	離職者雇用・移住促進事業	300	平成27年度	ロボコン2015
10,000	令和4年度	厚真町庁舎建替え	71,348	平成14~令和4年度	その他各種地域機関
平成14~令和4年度の 寄付金総合計額			391,738千円		

SDGsへの取組み

苫小牧信用金庫 SDGs宣言

苫小牧信用金庫は平成10年(1998年) 創立50周年を機に地域の使命共同体としていっそう邁進することし、その後、地域貢献、環境問題を業務の最重要項目として、専門部署を設けるなど、あらゆる分野で事業の展開を図ってきました。

そして2019年10月1日、経営方針のもと、国連が定めた「持続可能な開発目標SDGs」の達成に事業活動を通じ、地域の担い手として貢献していけるよう、「SDGs宣言」をいたしました。



業務概要

地域貢献

商品・サービス

経営管理

資料編

地域貢献・社会貢献



- ◆ 各町内会金融犯罪防止セミナー、小中学校金融教育等の実施
- ◆ 農業経営アドバイザー(日本政策金融公庫)資格者養成に取組
- ◆ 振込詐欺防止の取組
- ◆ 「まちなか交流館(足湯・物産コーナー)」の設置
- ◆ 地域の安全を守る「110番の店」(各種犯罪の抑止、予防)設置
- ◆ 「赤い羽根自動販売機」の設置

多様な人材育成



- ◆ とましん創生塾(若手経営者育成)の取組
- ◆ 女性総代の積極登用
- ◆ 次世代育成支援(対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定)
- ◆ 中小企業基盤支援機構「地域支援機関等サポート事業」を活用した職員向けセミナーの実施

安心・安全な医療・福祉



- ◆ 認知症サポーター制度参画
- ◆ 「がん検診の受診率向上」に向けた官民共同の取組み(協定)
- ◆ AED(自動体外除細動器)設置(本店ほか4店舗及び本部 合計6台)

地域環境の推進・保全



- ◆ セキュリティー&リサイクル(大型シュレッダー運用)
- ◆ 地域のランドマーク・まちを明るく(新本店壁面太陽光発電ライトアップ)
- ◆ クールビズ実施(本部職員は通年)
- ◆ 海の漂流物研究と清掃(ビーチコーミング)

地域経済の発展と支援



- ◆ 事業性評価に基づく課題解決型金融の実践
- ◆ 地域活性化・社会貢献(企業・団体)表彰の実施
- ◆ LLB会結婚相談所開設

ESG債等への投資



投資額累計(令和5年3月31日時点)

- ・グリーンボンド 19億円
- ・トランジションボンド 13億円
- ・ソーシャルボンド 4億円
- ・グリーンローン 1億円
- ・サステナビリティボンド 2億円
- ・トランジションリンクボンド 3億円
- ・サステナビリティリンクボンド 5億円



SDGs(持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals)

国際連合にて2015年に全会一致で採択された、「貧困」「飢餓」「健康」「教育」「働きがいと経済成長」「まちづくり」「気候変動」などの社会課題解決のため、2030年までに国際社会が取組むべき目標。